

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	601,721	2.4	15,053	28.1	15,709	29.3	12,049	25.2
2019年3月期第3四半期	616,466	3.9	20,928	3.0	22,214	0.4	16,103	10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 14,866百万円 (116.4%) 2019年3月期第3四半期 6,869百万円 (74.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	97.16	
2019年3月期第3四半期	128.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	641,646	324,032	49.4	2,554.37
2019年3月期	567,346	312,609	54.2	2,481.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 316,772百万円 2019年3月期 307,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		24.00	42.00
2020年3月期		22.00			
2020年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	1.5	21,500	14.8	22,000	17.4	17,300	14.1	139.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Nagase Holdings America Corporation、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	127,408,285 株	2019年3月期	127,408,285 株
2020年3月期3Q	3,396,548 株	2019年3月期	3,396,352 株
2020年3月期3Q	124,011,848 株	2019年3月期3Q	125,092,087 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用環境の改善は続いているものの、製造および設備投資は伸び悩んでおります。世界経済は、米国の堅調な企業業績がけん引しているものの、米中貿易摩擦の長期化等により中国の景気が減速する中、足元では新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響も懸念されており、全体として先行きの不透明感が増しております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内販売は3,049億2千万円（前年同期比△2.6%）、海外販売は2,967億9千万円（同△2.2%）となった結果、売上高は6,017億2千万円（同△2.4%）となりました。

利益面につきましては、売上総利益は減収に伴い778億2千万円（同△3.8%）、営業利益は減収に加え、一般管理費の増加等の影響により150億5千万円（同△28.1%）となり、経常利益は157億円（同△29.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120億4千万円（同△25.2%）となりました。

② セグメント別の概況

機能素材

機能素材につきましては、国内・海外ともに売上は減少しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数の減少により、塗料原料およびウレタン原料の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

スペシャリティケミカル事業は、国内外における半導体関連等の電子業界向けを中心としたエレクトロニクスケミカルの売上や、加工油剤原料の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は1,299億1千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、65億2千万円（△4.8%）の減収となりました。営業利益は40億9千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、1億3千万円（△3.2%）の減益となりました。

加工材料

加工材料につきましては、国内・海外ともに売上は微減となりました。

カラー&プロセッシング事業は、国内での工業用および包装材料用の合成樹脂や導電材料の売上が減少したものの、国内・海外における情報印刷関連材料の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマーグローバルアカウント事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は2,073億5千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、42億8千万円（△2.0%）の減収となりました。一方、営業利益は、国内の製造子会社の収益性の改善等により、69億6千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、1億5千万円（+2.3%）の増益となりました。

電子

電子につきましては、フォトリソ材料関連の売上が増加したものの、半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連の売上が横ばい、半導体中間工程用等の精密加工関連、装置関連、ディスプレイ関連部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は873億2千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、73億5千万円（△7.8%）の減収となりました。営業利益は41億4千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、20億5千万円（△33.2%）の減益となりました。

モビリティ・エネルギー

モビリティソリューションズ事業は、国内でのカーエレクトロニクス関連部材の売上、国内・海外での樹脂ビジネスの売上が減少したことから、国内・海外ともに売上は減少しました。

この結果、売上高は980億2千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、74億8千万円(△7.1%)の減収となりました。営業利益は15億6千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、9億円(△36.8%)の減益となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来の「自動車・エネルギーセグメント」から「モビリティ・エネルギーセグメント」に名称を変更しております。

生活関連

生活関連につきましては、国内での売上は微減となったものの、海外での売上は大幅に増加したことから、全体として売上は増加しました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ[®]等の売上は海外では増加し、国内では横ばいとなりました。また、第2四半期連結会計期間において新たに買収したPrinovaグループの売上が加わったことから、海外での売上は大幅に増加しました。スキンケア・トイレタリー分野では、AA2G[®]の国内での売上は減少しましたが、海外においては主に欧州での販売が好調であったことから売上は増加しました。医療・医薬分野では、製剤事業の売上は減少したものの、医薬品原料・中間体・医用材料の売上は増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、一般的に販売が低調であったことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は787億1千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、109億7千万円(+16.2%)の増収となりました。一方、営業利益は一部の国内製造子会社の収益性の悪化等により26億2千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、10億7千万円(△29.1%)の減益となりました。

その他

特記すべき事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、既存会社における現預金およびたな卸資産の減少等があったものの、子会社の新規連結に伴う資産の受入等により、前連結会計年度末に比べ、245億4千万円増加の3,903億7千万円となりました。固定資産は、子会社の新規連結に伴う資産の受入、のれんを含む無形資産等の計上および保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ、497億5千万円増加の2,512億7千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、742億9千万円増加の6,416億4千万円となりました。

負債は、コマーシャル・ペーパー、長期借入金および社債が増加したことから、前連結会計年度末に比べ、628億7千万円増加の3,176億1千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益120億4千万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、114億2千万円増加の3,240億3千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.2%から4.8ポイント減少し、49.4%となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2019年11月1日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,068	38,351
受取手形及び売掛金	230,459	245,936
商品及び製品	74,471	85,052
仕掛品	1,847	1,707
原材料及び貯蔵品	4,683	7,667
その他	10,651	12,408
貸倒引当金	△355	△753
流動資産合計	365,827	390,370
固定資産		
有形固定資産	66,467	74,424
無形固定資産		
のれん	23,866	33,423
技術資産	10,639	9,458
その他	2,772	27,886
無形固定資産合計	37,279	70,767
投資その他の資産		
投資有価証券	90,263	96,602
長期貸付金	243	454
退職給付に係る資産	109	1,907
繰延税金資産	2,290	2,147
その他	4,959	5,057
貸倒引当金	△92	△85
投資その他の資産合計	97,771	106,083
固定資産合計	201,518	251,275
資産合計	567,346	641,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117,256	123,271
短期借入金	34,964	29,360
1年内返済予定の長期借入金	949	933
コマーシャル・ペーパー	12,000	33,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	3,594	1,899
賞与引当金	5,355	3,114
役員賞与引当金	287	149
その他	17,457	22,230
流動負債合計	201,866	213,958
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	17,577	42,193
繰延税金負債	12,075	15,366
退職給付に係る負債	12,461	13,811
その他	757	2,283
固定負債合計	52,870	103,654
負債合計	254,737	317,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,647	10,646
利益剰余金	247,617	254,030
自己株式	△5,070	△5,071
株主資本合計	262,892	269,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,857	45,668
繰延ヘッジ損益	△7	12
為替換算調整勘定	3,224	1,922
退職給付に係る調整累計額	△292	△136
その他の包括利益累計額合計	44,781	47,466
非支配株主持分	4,934	7,260
純資産合計	312,609	324,032
負債純資産合計	567,346	641,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	616,466	601,721
売上原価	535,568	523,899
売上総利益	80,898	77,821
販売費及び一般管理費	59,970	62,767
営業利益	20,928	15,053
営業外収益		
受取利息	145	107
受取配当金	1,624	1,865
受取賃貸料	199	199
持分法による投資利益	618	-
その他	475	314
営業外収益合計	3,063	2,487
営業外費用		
支払利息	1,249	1,078
持分法による投資損失	-	156
為替差損	235	130
その他	291	466
営業外費用合計	1,777	1,831
経常利益	22,214	15,709
特別利益		
固定資産売却益	136	20
投資有価証券売却益	321	3,763
関係会社株式売却益	6	-
補助金収入	-	27
特別利益合計	464	3,810
特別損失		
固定資産売却損	70	43
固定資産廃棄損	155	146
減損損失	17	1,041
投資有価証券売却損	2	-
投資有価証券評価損	202	22
事業撤退損	187	-
特別損失合計	635	1,254
税金等調整前四半期純利益	22,043	18,266
法人税、住民税及び事業税	4,321	4,585
法人税等調整額	1,402	1,365
法人税等合計	5,723	5,950
四半期純利益	16,319	12,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	266
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,103	12,049

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	16,319	12,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,394	3,811
繰延ヘッジ損益	18	20
為替換算調整勘定	△179	△1,287
退職給付に係る調整額	172	155
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	△149
その他の包括利益合計	△9,449	2,550
四半期包括利益	6,869	14,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,829	14,740
非支配株主に係る四半期包括利益	39	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2019年4月1日付で当社は米国にNagase Holdings America Corporationを設立し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。その後、2019年8月2日に同社への増資を実行した結果、同社は特定子会社となりました。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、IFRS（国際財務報告基準）を適用する在外連結子会社において、IFRS16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計	全社 (注) 3	調整額 (注) 4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 5
	機能素材	加工材料	電子	モビリティ・エネルギー (注) 1	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	136,441	211,638	94,686	105,507	67,747	616,022	444	616,466	-	-	616,466
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,329	1,843	1,269	2,118	301	7,863	4,118	11,982	-	△11,982	-
計	138,770	213,482	95,956	107,626	68,048	623,885	4,563	628,448	-	△11,982	616,466
セグメント利益又は 損失(△)	4,224	6,807	6,198	2,469	3,707	23,407	286	23,694	△3,151	385	20,928

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、従来の「自動車・エネルギーセグメント」から「モビリティ・エネルギーセグメント」に名称を変更しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

3. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

4. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

5. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計	全社 (注) 3	調整額 (注) 4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 5
	機能素材	加工材料	電子	モビリティ・エネルギー (注) 1	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	129,917	207,356	87,329	98,020	78,718	601,341	379	601,721	-	-	601,721
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,374	1,666	1,428	2,211	370	7,051	4,113	11,164	-	△11,164	-
計	131,291	209,022	88,757	100,231	79,089	608,392	4,492	612,885	-	△11,164	601,721
セグメント利益又は 損失(△)	4,090	6,961	4,140	1,561	2,628	19,381	164	19,546	△4,793	301	15,053

- (注) 1. 第1四半期連結会計期間より、従来の「自動車・エネルギーセグメント」から「モビリティ・エネルギーセグメント」に名称を変更しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
3. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。
4. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
5. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、Prinova Group, LLCの持分を取得し、同社の子会社を含む計18社を連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結会計期間末の生活関連セグメントにおける資産は、前連結会計年度末に比べ、73,000百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子」セグメントにおいて、ガラス基板の薄型加工事業の採算性悪化に伴い、当該事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,039百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、Prinova Group, LLCの持分を取得し、同社の子会社を含む計18社を連結の範囲に含めたことに伴い、生活関連セグメントにおいてのれんが10,856百万円発生しております。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき暫定的に算定された金額であります。

3. 補足情報

(1) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	160,734	89,637	28,660	11,404	12,953	303,391
II 連結売上高(百万円)						616,466
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.1	14.5	4.6	1.9	2.1	49.2

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	151,279	83,863	34,170	14,702	12,775	296,791
II 連結売上高(百万円)						601,721
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.2	13.9	5.7	2.4	2.1	49.3

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
 2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国または地域
 (1) グレーターチャイナ・・・中国、香港、台湾
 (2) アセアン・・・・・・・・タイ、ベトナム
 (3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ
 (4) 欧州・・・・・・・・ドイツ
 (5) その他・・・・・・・・韓国